

矢部高校通信

文責：校長

あけましておめでとうございます



令和8年がスタートしました。良いスタートが切れるように願って、我が家でついた鏡もちを学校の玄関に飾り新年を迎えました。1月5日には学校横の矢村神社にて、今年一年、矢部高校が生徒、職員にとって安心安全で学びの多い学校となるように祈願し、御札をいただけてきました。皆様にとっても良い一年でありますようにご祈念申し上げます。

始業式

講話では元京都大学総長の山極寿一氏のゴリラから生き方を学ぶ著書について話しました。①ゴリラは「争わない」生き物 ②仲間とのつながりをとても大切にする ③言葉より「気持ち」を読み取る力が重要 ④「競争」より「共生」を学ぶべきだ ⑤自分らしく生きるヒントがある という内容です。自分がどう生きたいか考えるきっかけにもなり、「自ら気づき 考え 行動する」ことの大切さを伝えました。



「古典探究」の授業



2年普通科での授業の様子です。古典は教科書を読むだけではなかなか定着しません。しっかりノートに書くことと声に出して読むことが必要です。グループでの読み合わせもスムーズにできています。一つひとつの授業に一生懸命に取り組む姿は高校生として輝いて見えます。この積み上げが大事です。

ALTと英語の授業

1年普通科「英語コミュニケーション」の授業で公民権活動家 Martin Luther King, Jr. を教材に人種差別についての学びでした。ALT（外国語指導助手）の発声に続いて英文を読み上げたり、文書問題の解答を電子黒板に記入したりとICT機器やプリントをうまく使いながら学びを深めていました。



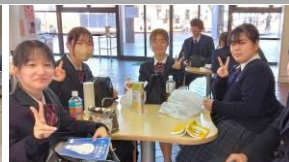
農高 - 農大一貫プロジェクト



食農科学科の野菜専攻生は農業大学校と有機イチゴ栽培における一貫プロジェクトに取り組んでいます。高校で学んだ栽培について、農大においても研究テーマとして取り組み知識や技術を高めるものです。農大では先輩から丁寧に研究している内容を教えていただきました。先輩がいるのは心強いですね！

大学入学共通テスト

普通科の生徒にとって最大の難関です。この3年間積み上げてきたものを出し切ってもらいたいと激励会を開きました。体調管理や最後まで諦めないことを伝えました。テスト本番は県立大学で行われましたが、みんなリラックスして出し切ってくれたと思います。ここは通過点、最後の目標までひと頑張り！



「課題研究」発表会



食農科学科と林業科学科の3年生が「課題研究」の時間に取り組んだ内容を発表しました。イチゴ栽培やシシラン栽培、食品加工や森林資源の活用、福祉との連携などなど8本の発表でした。1、2年生も真剣に聴き、次年度からの自分たちの研究活動をイメージできたのではないかと思います。

有機米の魅力(味力)を楽しむ座談会



町内の有機米の魅力を実感する会が本校で行われ、坂本町長から「もっと魅力を発信したい」とありました。食農科学科向けの授業や一般向けのミニトークやパネルディスカッションがあり、東京や滋賀県からもパネラーとして参加されました。その後、4人の生産者が育てた玄米ご飯の食べ比べが行われ、しし汁もいただきました。有機米の香りや歯ごたえ、甘みなど違いと魅力を知る良い機会となりました。最後はみんなで

お出かけ知事室



山都町で「お出かけ知事室」が開催されました。私も傍聴してきましたが、TSM Cやミサイル問題、鳥獣害や教育問題など、町の方の県政に対する関心の高さを感じました。多くの方が知事に意見を話される中、複数の方が矢部高校について意見されました。内容は寮の問題や魅力化に関するものでした。知事からは「矢部高校はもっと輝ける。矢部高校を中心とした町づくりを進めてほしい」とありました。